

ごあいさつ

「地方精神保健」第27号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会は昭和38年、当時の国立精神衛生研究所所長、精神衛生審議会会長であった内村祐之先生初代会長に、各都道府県の精神保健福祉協会または協議会との間の連絡を図り、もって精神保健福祉の普及啓発に資することを目的に設置されました。

私は、昭和44年に国立精神衛生研究所に勤務になり、その直後から厚生省精神衛生課に併任となって以来、本会とは長いお付き合いになりました。特に、平成9年4月に国立精神・神経センター精神保健研究所長に着任してからの約3年9か月は本会の会長を務めさせていただき、多くの皆様にお世話になりました。所長を退くと共に会長の職を離れましたが平成18年に再度本会会長に選任され、いったん職を離れた者が、再びその職につくことは遠慮すべきと考えて会長への就任は何度も固辞しましたが、前会長（北井暁子 前精神保健研究所長）の話をお聞きして、ようやく会長就任を決断いたしました次第です。

厚生労働省精神保健福祉対策本部から「精神保健医療改革ビジョン」が公表されて3年が過ぎ、本格的に精神障害者の地域移行への取組が進められようとしています。また、精神保健研究所には、自殺予防総合対策センターが設置され、昨年6月に閣議決定された自殺総合対策大綱をもとに自殺対策が本格的に取り組みようとしています。このような大きな変化の中で、地域における精神保健福祉が眠っていてよいわけがありません。

各都道府県の精神保健福祉協会または協議会が取り組むべき課題は大きいし、それを束ねてわが国の精神保健福祉のこれからを、実践的に模索していくのが、本会の役割と認識しております。

本会ではその一助として各都道府県の精神保健福祉協会または協議会の活動報告をまとめ「地方精神保健」として年1回発行しております。第27号には、平成18年度の事業報告と平成19年度の事業計画を掲載しました。この冊子が各地の連絡協議会の活動に役立つことを願っております。なお、全国精神保健福祉連絡協議会では平成19年度中にホームページを立ち上げることとしており、この冊子に記載されていることはホームページに掲載予定であることを申し添えます。

平成19年12月

全国精神保健福祉連絡協議会

会長 吉川 武彦